

ふくし ふれあい CONTACT WITH WELFARE

夏号
2015年
6月10日
No.63

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 上田 淳 編集者 末長 孝 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 熊本市中央区九品寺1丁目17-9 熊本県労働会館内 TEL096-372-0915 FAX 096-372-0600
http://kumamoto.rofuku.net/

2015年度 第4回 通常総会

「労働・福祉運動の任務が問われている」

上田理事長が共助の取り組みを強調

一般社団法人熊本県労働者福祉協議会は5月28日、ホテル熊本ニュースカイで2015年度第4回（通算49回）通常総会を開き、代議員や理事、



▲上田理事長

監事など約50人が出席しました。

議長団には荒尾玉名鹿本労福協の勢田、事業体から九州労金の吉本両代議員を選出。理事会を代表して上田理事長が、安倍政権が国民の議論を後回しにして強引に進める安全保障関連法案を批判した後、「防衛予算は5兆円余だが、少子高齢、格差と貧困の改善、若者の雇用、生活保護などの予算は減らしているし、労働者派遣法の改悪や労働者保護ルールの改悪など、今国会成立をねらっている。社会全体の底上げを図るために、また1000万人が低賃金で働いている現実を直視し、働く者の連帯の力と組織拡大で共助の運動を進めよう」とあいさつしました。

次に来賓として出席した県商工観光労働局の松岡労働雇用課長と、熊本市産業政策課の井上首席審議員が、それぞれ蒲島知事、大西市長のメッセージを代読しました。

総会は成立を確認した後、末長専務理事が2014年度事業報告と同決算報告を、島崎監事が監査報告をおこない、満場一致で承認しました。

また、2014年度の剰余金処分についても、福祉基金や50回通常総会記念事業会計、2015年度の一般会計への繰り入れについて満場一致で承認し



▲議長団（左から）吉本代議員と勢田代議員
ました。

事業計画や予算など承認

次に末長専務理事が2015年度事業計画（案）、同会費（案）、同予算（案）などを提案しました。（事業計画は2面に掲載）

これに対し芦北地区労福協の橋口代議員から「自然災害遺児救援会の財政基盤の強化が出されているが、現在、基金はどれくらいあるのか」という質問に対し、末長専務理事が「本日午前中に第18回総会を開催した。現在5,996万円余となっている。全国で予期せぬ災害が発生しているが、当面は基金を増やすためにチャリティーなどを企画していきたい」と答弁し、事業計画（案）や予算（案）など、すべて承認されました。また、2015年度会費（案）も承認されました。

上田理事長ら再任

続いて一部理事、監事の退任に伴う役員改選について、友田役員選考委員長が報告し、満場一致で承認された後、休憩時間を利用して第1回理事会が開かれ、総会再会後、上田理事長らの再任と4人の新任が報告されました。（2面に2015年度理事会役員名を



▲県商工観光労働局
松岡労働雇用課長



▲熊本市産業政策課
井上首席審議員

掲載）

そして山本寛新理事と吉本安則監事が、それぞれあいさつしました。（他の新理事と新監事は所用のため欠席）そして理事会を代表して上田理事長が、「政治状況が不安定であり、働く人たちの環境が厳しくなっている。労働人口も減少していくなか、労働運動や福祉運動の任務が問われている。労働者全体の底上げと共助の取り組みに力を入れていきたい」と決意を述べました。

総会は「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」などのスローガンを採択して閉会しました。

今後は向こう1年間の福祉運動の強化と前進が求められます。



▲新役員あいさつ（右から）山本寛理事、
吉本監事

2面に関連記事

2015年度 事業計画

労働者福祉運動を担う人材育成を 地区労福協活動の活性化や生活応援運動など



▲末長専務理事

2015年度の実業計画（案）は末長専務理事が提案し、満場一致で承認されました。

末長専務は「高齢化の進行、少子化問題、格差や貧困の拡大、生活と雇用の不安定化で日本は混迷をさらに深めているが、政治は新自由主義経済でのマネーゲーム化を推進している。このような社会から脱却し『安心・共生の福祉社会』を創ろう」と前置きをしながら、主要課題と継続的な取り組みを提起しました。

【主要(重点)課題について】

- ①勤労者の暮らしにかかるサポート事業の取り組み
- ②労働者福祉運動を担う人材の育成・教育活動の取り組み
- ③多重債務、格差や貧困の是正を目指す取り組み
- ④福祉事業団体の共助拡大と利用促進の取り組み

【継続的な取り組みについて】

1. ニーズに応じたセミナー開催、生活応援運動の取り組み
 - ①労金の「しあわせ創造運動再構築」、全労済の「生活保障運動」を中心に福祉事業団体の活動と連帯していく。
 - ②サラ金利用の組合員・家族に対する労金への低利借換え運動。

- ③セミナー開催は県労福協と地区労福協が連携して参加を呼びかけ、講師は労金、全労済、他団体に要請する。



▲福祉運動の人材育成が今後の課題

2. 地区労福協活動の活性化と、地区労福協再編の取り組み

- ①地区労福協の会議に福祉事業団体は積極的に参加する。
- ②自治体要請行動は、各連合地域協議会と連携して取り組む。
- ③文化・サークル・スポーツ・レクリエーション活動を取り組む。
- ④次世代を担う会員を対象に、労働者福祉運動のセミナー開催の推進。
- ⑤地区労福協の再編は、各地区労福協の論議を尊重し、期限を切らず可能で条件が整ったら再編を目指す。

3. 連合との連携強化

- ①ライフサポートセンターくまもとの取り組みをはじめ、各種シンポジウムやセミナー開催の取り組み強化。

4. 退職者・高齢者との連携

- ①次世代の人材育成のため、労組OBなどにセミナー講師やアドバイザーを要請、そのための情報交換をする。
- ②県高齢者退職者団体連合との連携。

5. 研修活動の充実

- ①中央労福協、南部労福協、県労福協

が主催する研修活動への積極的参加。

- ②南部ブロック協議会の研究集会では九州各県との交流の場をつくる。

6. 労働者福祉向上に向けた自治体要請の取り組み

- ①熊本県と県内各自治体への福祉関連要求を、連合熊本や各地協と連携して適宜要請をおこなう。

7. 環境保護、食の環境課題など

- ①阿蘇グリーンストックの会員として引き続き要請に対して協力していく。
- ②食品ロスの削減と有効活用は福祉活動支援となるし、フードバンク活動が社会的に注目されていることから、他団体との連携や支援の可能性について情報収集に努める。

8. 災害被災支援活動について

- ①共助・共生を理念とする労福協として中央・南部労福協と連携していく。

9. 熊本県自然災害遺児救援会の財政基盤の強化

10. 組織運営、活動の強化と充実

11. 新規社会貢献事業支援の検討

※以上11項目の継続課題を県労福協と地区労福協で取り組みましょう。



▲事業計画(案)などの承任に挙手する代議員の皆さん

2015年度 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会理事会役員

役職名	氏名	選出団体	備考	役職名	氏名	選出団体	備考
理事長	上田 淳	連合熊本	再任	理事	古庄 栄次	連合熊本	再任
副理事長	田北 尚勝	連合熊本	再任	理事	山本 寛	連合熊本	新任
副理事長	手嶋 一弘	福祉事業団体	再任	理事	境 徳幸	連合熊本	新任
副理事長	田川 仁	福祉事業団体	再任	理事	田中 広幸	福祉事業団体	再任
専務理事	末長 孝	連合熊本	再任	理事	中熊 英樹	福祉事業団体	再任
理事	梶田 秀治	連合熊本	再任	監事	島崎 真	連合熊本	再任
理事	佐々木義博	連合熊本	再任	監事	石井 雅臣	連合熊本	新任
理事	今村 賢治	連合熊本	再任	監事	吉本 安則	福祉事業団体	新任
理事	友田 孝行	連合熊本	再任				

荒尾玉名・鹿本地区労福協の統合の取り組みと活動

統合まで4回にわたり検討委員会で論議 合併までの活動の継承や新活動もスタート

【経過】

2013年度それぞれの総会で両地区労福協の、「合併検討委員会を設置する」ことを決めた。それをうけて、検討委員会を選出し、4回（13年9月、11月、14年1月、3月）にわたり論議を重ねた。お互いの立場や利害を超え、双方がひとつになったことを前提として、すべての項目で前向きで建設的な議論を進めることができた。

その結果、2014年4月12日解散総会と結成総会を開いた。

結成総会では①合併までの経過報告。②新労福協の規約。③役員体制（旧役員をすべて新役員とした）。④これからの運営について提案し、すべて承認された。先輩代議員からも要望があった。これですべてが新しい役員体制となり、7月に第2回総会を開催することを確認し、その後来賓・役員・代議員など53人で新労福協の結成を祝った。



▲結成総会に出席した代議員の皆さん

【その後活動】

7月の第2回総会を開催後、予算措置もはかりスムーズに活動をしている。①四役会・幹事会を隔月に実施。②合併前の活動を継承している（ビーチボールバレー・室内バタンク大会、3.11福幸（復興）の会など）。③新活動として、ろうきん友の会3地区交流グラウンドゴルフ大会の開催。④3首長との懇談会（荒尾・玉名・山鹿市長と地協・労福協四役）などを仲良く展開している。（事務局長 勢田昭一）

今年も県労働会館が自主文化事業

秋津レークタウン クリニック 稲津先生を講師にストレッチ



熊本県労働会館は3月19日4階ホールで自主文化事業として「誰でも簡単にできるストレッチ」を開催しました。

▲稲津英弘先生 講師は秋津レークタウンクリニックの稲津英弘先生。

日常生活の中で最もよく使われる筋肉をストレッチして、リラックスさせることを主眼としたストレッチングを、稲



▲先生の指導で身体を動かす参加者
津先生が分かりやすく説明し、参加者全員が身体や手足を動かし、筋肉をほぐすなどのストレッチを学びました。

医療法人社団
熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

■診療科目／内科、小児科、リハビリテーション科、居宅介護支援事業

- 理事長／木村孝文
- 院長／山口秀樹
- 入院／無
- 駐車場／有

受付

午前 月曜日～土曜日／9:00～12:00
午後 月曜日～金曜日／2:00～6:00
土曜日／1:30～3:00
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は
鍼灸はお休みです。
休診日／日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田3441-20 ☎368-6007

噴煙

「オレオレ詐欺」が後を絶たないどころか、その手口はさらに巧妙になっている。れっきとした犯罪だから、防止対策に警察や金融機関はキャンペーンをはっているが、政治家の巧言（言葉を飾ってうまく言うこと）も油断できない■その代表が安倍総理だ。昨年暮れの総選挙では「労働者の賃金は上がったではありませんか」「格差は改善されています」と、アベノミクス（経済政策）の成果を何度も口にした。しかし、賃金は一部の大企業だけで、中小企業の大半は賃上げが難しい状況にある。雇用は好転していると言ったが、非正規雇用労働者の数は増大しているし、低い年金で生活を切りつめている



言葉づかいは丁寧だが
政治は弱者いじめ……

高齢者層や、シングルマザーの家庭の貧困は子どもたちに引き継がれるというスパイラル（悪循環）構造となっている■安倍総理は度々東日本の被災地を訪れて、政府は復興に力を入れていると言うが、現実には遅々として進まないどころか、復興予算が被災地以外に使われているし、国際的に福島原発事故による放射能汚染は、完全にコントロールされていると発言したがとんでもない■前述の総選挙では経済回復を争点とし、安全保障問題や集団的自衛権の行使にはふれなかった。選挙後、野党から指摘されると「ちゃんとマニフェストに書いていました。だから私たちに政権を与えてくれたのです」と言った■巧言政治に走る安倍総理の暴走を許していいのか。

医療法人 社団 熊本労安会 秋津レークタウンクリニックが25周年感謝の集い

いのちと健康を大切に人間尊重の医療が歴史刻む

「いのちと健康がなによりも大切にされ、一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される、そんな医療と社会をめざします」を理念に掲げる、医療法人社団熊本労安会・秋津レークタウンクリニックは、5月30日ホテル日航熊本で「25周年感謝の集い」を開き、約130人が出席しました。

木村理事長は「働く人たちや地域の皆さんに良質な医療をと、労働組合や労福協などのご支援で開院した。当初3、4年は財政的に厳しい運営をよぎなくされたが、私たちの理念が年々理解



▲山口専務理事が労安会の役員を紹介



▲熊本労安会
木村孝文理事長



▲連合熊本
上田淳会長

されて広がり、事業所、労組、地域の住民の皆さんのご利用が増加し、25年の歴史を築いた。皆さんのご支援に心から感謝したい」と謝辞を述べた後、理事長自らがナレーターとなりスクリーンで25年の歴史をふり返りました。

続いて連合熊本の上田会長や、準備から開院までバックアップされた熊本学園大学の嵯峨理事（当時教授）、秋津レークタウンの財部自治会長が祝辞を述べました。そして熊本県保険医協会の宇野名誉会長のご発声で乾杯をお



▲山口院長がクリニックの医療スタッフを紹介

こない、祝宴に移りました。

会場は当時の苦労話など思い出を語り合ったり、クリニックを退職した当時のスタッフが地域の皆さんとの再会を喜び合いました。

また労安会の理事紹介、クリニックの医療スタッフの紹介があり、「生き生き夢くらぶ」の中瀬代表、三重野潤一氏、公民館の大川館長があいさつしました。お開きは開院に携わった元連合熊本の福島会長が万感の想いを込めてあいさつしました。

ユニオントラベル熊本からあなたへ

夏

ユニオントラベル熊本 の特選ツアー

詳しい内容は
お問い合わせ
ください

8/1
土

50種類のバイキング!

ユニオントラベル夏のグルメツアー

〈観光は、九十九島遊覧船または水族館を選べます!〉

大人7,000円 小人5,000円

8/29
土

福岡ソフトバンクホークス vs 北海道日本ハムファイターズ

ヤフオクドーム日帰り野球観戦ツアー

〈アサヒビール園での昼食付!〉

大人8,500円 中・高生8,000円 小人7,000円

9/12
土

独身男女限定!!

縁結びツアー in 阿蘇

モーモーフาร์มでバター作りとバーベキュー!

男性6,500円 女性6,000円

お問い合わせは



生協 法人 ユニオントラベル熊本

TEL(096)371-2022

FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺1丁目17-9 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 堀内 淳

編集後記

県労福協第49回通常総会で、2015年度事業計画が承認されました。会員の連帯を基盤としながら、勤労者福祉に関連する身近な問題や将来に亘る社会的課題の改善に向けて取り組むことが確認されました。

来年は設立50周年、一つの節目の年として記念行事も計画することとしています。改めて、向こう一年の活動に対するご協力をよろしくお願いいたします。

さて、毎日メディアで発信される事件や事故などの情報で、なかには現代社会の病理的現象ととらえてよいかわかりませんが、近年、発生する特異な事件や、社会が抱えるいろいろな問題がクローズアップされています。多分いつの時代でも、その時々々の現象には共通する部分があるのかもしれませんが、重要なのは、今の社会を良い方向へ導くために人々が無関心ではなく、その問題に真剣に向かい合い考えることなのでは… (T.S.)